

# 日医かかりつけ医機能研修制度

## 【研修内容】

### 基本研修

- ・日医生涯教育認定証の取得。

### 応用研修

- ・日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区医師会が主催する研修等の受講。

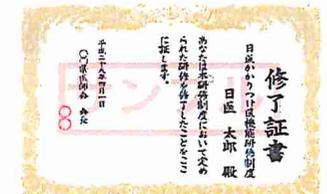
規定の座学研修を10単位以上取得

### 実地研修

- ・社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践。

規定の活動を2つ以上実施  
(10単位以上取得)

3年間で上記要件を満たした場合、都道府県医師会より  
修了証書または認定証の発行(有効期間3年)。



## 応用研修

日医では平成28年度より、シラバスに基づくテキストを用いた座学の研修会（6講義、計6時間）を、中央研修として年に1回のペースで開催予定。（3年かけてシラバスの全項目を網羅する。）

### 各年度の講義内容(予定)

日医かかりつけ医機能研修制度

応用研修講義要綱  
【シラバス】

公益社団法人 日本医師会

平成28年4月

#### 平成28年度 5月22日(日)

- 1: かかりつけ医の倫理
- 2: 生活習慣病
- 3: フレイル予防、CGA・老年症候群
- 4: かかりつけ医の摂食嚥下障害
- 5: かかりつけ医の在宅医療・緩和医療
- 6: 症例検討

#### 平成29年度

- 1: かかりつけ医の質・医療安全
- 2: 認知症
- 3: フレイル予防、CGA・老年症候群
- 4: かかりつけ医のリハビリテーション
- 5: かかりつけ医の在宅医療・緩和医療
- 6: 症例検討

#### 平成30年度

- 1: かかりつけ医の感染対策
- 2: 健康増進・予防医学
- 3: フレイル予防、CGA・老年症候群
- 4: かかりつけ医の栄養管理
- 5: かかりつけ医の在宅医療・緩和医療
- 6: 症例検討

※日医における中央研修の実施後、都道府県医師会に対し、同研修会の実施を依頼予定。

日医かかりつけ医機能研修制度 平成 28 年度応用研修会  
プログラム (案)

開催日：平成 28 年 5 月 22 日 (日)

総合司会：小森 貴 常任理事

10:00	(1) 開会・挨拶 (5分)	日本医師会長 横倉 義武
	(2) 講義	(座長：鈴木邦彦 常任理事)
10:05	1. かかりつけ医の倫理 (60分)	新田 國夫 (全国在宅療養支援診療所連絡会 会長) 箕岡 真子 (東京大学大学院医学系研究科 医療倫理学分野 客員研究員)
11:05	2. 生活習慣病 (60分)	寺本 民生 (帝京大学 臨床研究センター センター長)
12:05	< 休憩・昼食 > (55分)	
13:00	3. フレイル予防、高齢者総合機能評価(CGA)・老年症候群 (60分)	(座長：羽鳥裕 常任理事) 飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構 准教授)
14:00	4. かかりつけ医の摂食嚥下障害 (60分)	(座長：松本純一 常任理事) 山脇 正永 (京都府立医科大学 学長特別補佐)
	< 休憩 > (10分)	
15:10	5. かかりつけ医の在宅医療・緩和医療 (60分)	(座長：釜菴敏 常任理事) 草場 鉄周 (医療法人 北海道家庭医療学センター 理事長) 和田 忠志 (いらはら診療所 在宅医療部)
16:10	6. 症例検討 (60分)	(座長：小森貴 常任理事) 草場 鉄周 (医療法人 北海道家庭医療学センター 理事長)
17:10	(3) 閉会・挨拶 (5分)	日本医師会常任理事 鈴木 邦彦
17:15	(4) 終了	

※内容等が変更となる場合があります。

(28.2.22 現在)

# 日医かかりつけ医機能研修制度

## 実地研修

- ・修了申請時の前3年間において下記項目より2つ以上実施していること。  
1項目実施につき5単位とし、10単位を取得する。

1. 学校医・園医、警察業務への協力医
2. 健康スポーツ医活動
3. 感染症定点観測への協力
4. 健康相談、保健指導、行政(保健所)と契約して行っている検診・定期予防接種の実施
5. 早朝・休日・夜間・救急診療の実施・協力
6. 産業医・地域産業保健センター活動の実施
7. 訪問診療の実施
8. 家族等のレスパイトケアの実施
9. 主治医意見書の記載
10. 介護認定審査会への参加
11. 退院カンファレンスへの参加
12. 地域ケア会議等※への参加(※会議の名称は地域により異なる)
13. 医師会、専門医会、自治会、保健所関連の各種委員
14. 看護学校等での講義・講演
15. 市民を対象とした講座等での講演
16. 地域行事(健康展、祭りなど)への医師としての出務